

かながわ京浜臨海部ニュース

平成 25 年 6 月号

今号の INDEX

- ・ 京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区に関する取組みが続々始動！ p 1
- ・ 「川崎メカニズム」の募集を開始しました！ p 3
- ・ 理研の第 3 期中期計画がスタート！ 組織改編で総合力の発揮を目指す p 3
- ・ 「横浜・川崎 臨海部工場立地図」を更新しました！ p 4

京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区に関する取組みが続々始動！

ライフイノベーション国際協働センター（GCC）が開設されました！

日本には、生命科学分野でも世界をリードする基礎研究がたくさんあります。しかし、それを製品化し海外市場に展開する点が十分でないため、医薬品や医療機器は輸入超過となっています。

神奈川県では、この弱点を克服し医薬品・医療機器などライフサイエンスの分野で“経済のエンジンを回す”産業の一つの柱を育てるため、京浜臨海部を中心に最先端の技術を活用した国際的な拠点づくりに取り組んでいます。そして、規制の厳しい医療の世界に風穴を開けることにより、「開かれた医療」の実現を目指しています。

この「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区」の取組みの一環として、平成 25 年 4 月、川崎市高津区の K S P（かながわサイエンスパーク）内に「ライフイノベーション国際協働センター（GCC = Global Collaboration Center for Life Innovation）」が民間主導で開設されました。GCC は、ライフサイエンス関連産業の海外展開を円滑に進めるための支援など、特区における国際戦略を強化するための組織として、県が設立を支援してきました。

今後も特区の推進に共同で取り組んでいる横浜市・川崎市と連携し、ライフイノベーションを加速させる取組みを進めていきます。



平成 25 年 4 月 2 日除幕式にて
松本代表理事(左)、黒岩知事(右)

問い合わせ先 / 神奈川県政策局政策部国際戦略総合特区推進課 電話：(045)210-3265

川崎生命科学・環境研究センター ^{ライズ} LiSE がオープン！

ライフサイエンス・環境分野における世界最高水準の研究開発から新産業を創出する「殿町国際戦略拠点（キングスカイフロント）」の中核施設の一つとして、「川崎生命科学・環境研究センター LiSE（ライズ = Life Science & Environment Research Center）」が、民間活力を活用した整備手法により昨年 12 月に竣工、今年 3 月 28 日にはキングスカイフロントのまちびらき式典・イベントを行い、大勢の方でにぎわいました。

LiSE には、川崎市の「環境総合研究所」や「健康安全研究所」、市内企業の海外展開などを支援する「海外ビジネス支援センター」が入居・運営を開始しているほか、民間ラボ部分には、ライフサイエンス産業の開発支援・産業化支援となる研究を展開する「公益財団法人神奈川科学技術アカデミー（KAST）」の入居をはじめ、様々な民間企業が進出を予定しています。



キングスカイフロントの中核施設となる LiSE

LiSE では、研究者の相互交流を促す機能を充実させることにより、本施設のみならず外部の様々な企業・研究機関との共同研究を促進することで、わが国だけでなく世界各国が直面する様々な課題の解決に向けた取組みを活性化させ、国際的なライフイノベーション・グリーンイノベーションの実現を目指します。

問い合わせ先 / 川崎市総合企画局臨海部国際戦略室 電話：(044)200-3593

川崎市と大田区が産業連携協定を締結しました

川崎市と大田区は、平成 25 年 4 月 24 日に「大田区と川崎市との産業連携に関する基本協定書」を締結しました。

川崎市と大田区には、京浜臨海部を中心とした高度な技術を有する中小企業やグローバル企業等の産業集積、多数の大学・研究開発機関等の立地、充実した陸海空の交通・物流インフラが形成されています。今回の協定は、両者の持つ特徴と強みを活かして産学官の連携・協力により相乗効果を高め、羽田空港を核に我が国の経済成長を牽引し地域経済の活性化を図るとともに、国際的な課題解決に貢献することを目的に締結されたものです。

協定では、「企業間の連携」「国際戦略総合特区間の連携」「国際化の連携」「観光・商業の連携」の 4 つが連携・協力事項として位置づけられており、多摩川を挟んで両岸で展開されている特区間の連携も盛り込まれています。特区間の連携について自治体間で基本協定を締結するのは、全国で初となります。具体的には、羽田空港を中心に展開している 2 つの特区（羽田空港跡地と殿町地区）について、国際競争力の強化の観点から、企業誘致・企業間連携や、機能を役割分担した土地利用・インフラなど、様々な視点から連携・協力を図り、国際戦略拠点の形成を図ることとしており、今後、我が国の経済成長の牽引につながる、行政区域にとどまらない拠点形成が加速されることが期待されます。



松原大田区長（左）、阿部川崎市長（右）

問い合わせ先 / 川崎市総合企画局臨海部国際戦略室 電話：(044)200-2547

「インベスト神奈川 2nd ステップ」を拡充しました！

神奈川県では、企業誘致施策である「インベスト神奈川 2nd ステップ」の制度内容を拡充し、平成 25 年 4 月より新たに「インベスト神奈川 2nd ステップ+ (プラス)」としてスタートしました！

京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区におけるライフサイエンス関連業種等を対象とした奨励金の新設など、特定エリアを対象にした制度を拡充し、企業の皆様への支援を強化しております！

【主な拡充内容】

最低投資額要件の引き下げ……認定に必要な投資額要件を全体的に引き下げ、より多くの企業の皆様が支援措置を利用できます！

支援措置の対象となる業種の拡大……より多くの企業の皆様が支援措置を利用できます！

奨励金の新設……特区地域等に立地する特定の業種に奨励金を交付します！

融資制度の拡充……中小企業等が低利な融資をご利用できます！

外国企業に対する助成金の新設……本県に進出又は再投資する外国企業に対して 拠点運営費を助成します！

【インベスト神奈川 2nd ステップ+ ホームページ】 <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f6852/>

【制度案内リーフレット】 <http://www.pref.kanagawa.jp/uploaded/attachment/572466.pdf>

問い合わせ先 / 神奈川県産業労働局産業・エネルギー部産業立地課 電話：(045)210-5573

「川崎メカニズム」の募集を開始しました！

川崎市では、川崎の特徴・強みである優れた環境技術を活かした地球規模での温室効果ガスの排出削減を推進するため、市内事業者の優れた環境技術が川崎市域外で温室効果ガスの削減に貢献している量（域外貢献量）を認証する、国内自治体初となる「川崎メカニズム」について募集を開始しました。



募集期間：平成 25 年 6 月 3 日～平成 25 年 8 月 30 日

算定講習会・個別相談会：（第 1 回）平成 25 年 7 月 4 日 14 時から川崎市産業振興会館第 2 研修室
（第 2 回）平成 25 年 8 月 1 日 14 時から川崎市産業振興会館第 3 研修室
個別相談会は、算定講習会終了後開催

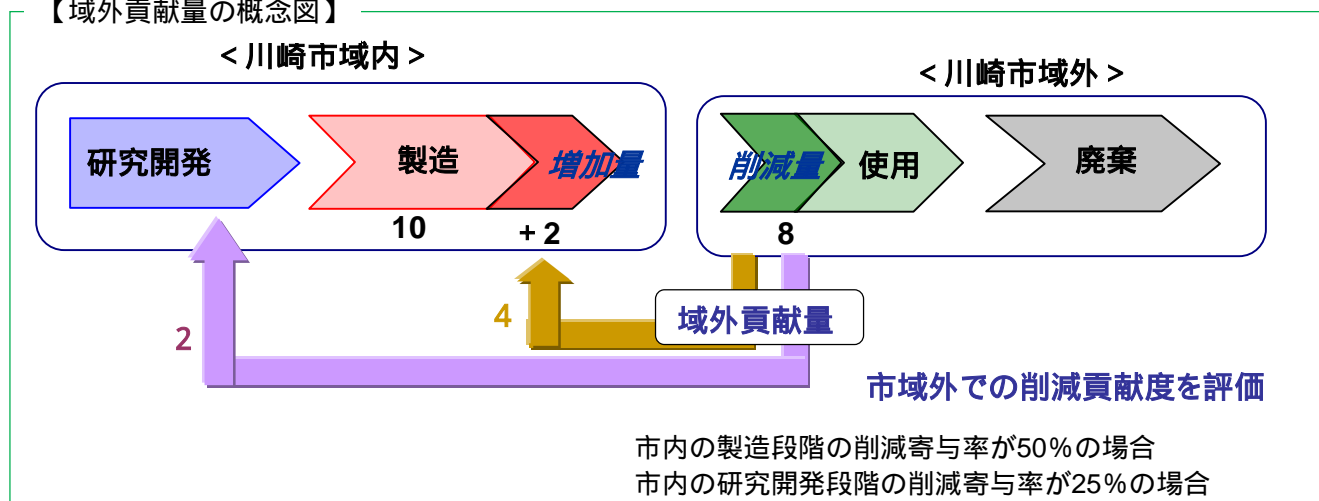
応募要領、申請書類等の詳細は、下記のホームページでダウンロードすることができます。
また、今年度で 5 年目を迎える低 CO₂ 川崎ブランドの募集も同時に開始します。
環境技術が集積した京浜臨海部の企業の皆様からのたくさんの応募をお待ちしております。

【川崎メカニズム認証制度ホームページ】

<http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/29-4-3-5-3-1-0-0-0-0.html>

【低 CO₂ 川崎ブランドホームページ】<http://www.k-co2brand.com/>

【域外貢献量の概念図】



問い合わせ先 / 川崎市環境局地球環境推進室 電話：(044)200-3836

理研の第 3 期中期計画がスタート！ 組織改編で総合力の発揮を目指す

横浜市内にも研究施設を構える理化学研究所（以下、理研）の第 3 期中期計画（平成 25 年度～平成 29 年度）が今年度からスタートし、それに伴い組織改編が行われました。

今回の組織改編により、理研が持つ総合力を発揮し、従来からの基礎科学研究の推進だけでなく、国家的・社会的課題達成に貢献するため、イノベーションの振興を目指します。

【横浜地区に関連した主な変更点】

研究センターの統合再編が行われ、これまでの「理研横浜研究所」は、以下の3センターを中心とする「理研横浜キャンパス」となりました。

◆ 統合生命医科学研究センター（IMS）

病気になる仕組みとその個人差を研究し、それぞれの人に最適の予防と医療を実現します。

◆ 環境資源科学研究センター（CSRS）

生物学と化学の力を融合し、資源・エネルギー循環型の持続的社会的の実現に貢献します。

◆ ライフサイエンス技術基盤研究センター（CLST）

ヒトを含む生命の生きた全体像を分子で捉え、次世代のライフサイエンスを切り拓きます。横浜キャンパスの管理運営を行う事務組織が「横浜事業所」として発足しました。

詳細は、横浜キャンパスのホームページをご覧ください。

【理研横浜キャンパスホームページ】<http://www.yokohama.riken.jp>

問い合わせ先 / 独立行政法人理化学研究所横浜事業所研究支援部総務課 電話：(045)503-9110

「横浜・川崎 臨海部工場立地図」を更新しました！

神奈川県・横浜市・川崎市で構成する京浜臨海部再編整備協議会が発行している「横浜・川崎 臨海部工場立地図」（以下「工場立地図」）が、このたび平成25年3月現在の状況を反映したバージョンにリニューアルされました！（前回の更新は平成22年3月）

この工場立地図は、京浜臨海部の活性化を図ることを目的に発足した京浜臨海部再編整備協議会の広報活動の一環として作成しているものです。主な工場・研究機関のほか、主要な道路や鉄道（事業中・計画中包含む）、用途地域の指定状況など、京浜臨海部の状況が一目で分かる内容にまとめられています。地図を眺めていると、大規模な工場や最先端の研究機関が集積していることがよく分かり、京浜臨海部が名実共に日本経済のエンジンの一翼を担う地区であることが実感できると思います。

工場立地図は、神奈川県庁及び川崎市役所にて、1部400円で販売しております。ご希望の方は、下記問い合わせ先までお問い合わせください。



問い合わせ先 / 神奈川県政策局自治振興部地域政策課 電話：(045)210-3255

編集・発行

神奈川県政策局自治振興部地域政策課 〒231-8588 横浜市中区日本大通1

電話 (045)210-3255 ファクシミリ (045)210-8837

ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/div/0602/>

（お問い合わせは、こちらのホームページ下部の「お問い合わせフォーム」からお願いします。）

組織名称・電話番号変更のお知らせ

神奈川県の組織改編に伴い、平成25年4月1日から組織名称及び電話番号が変更になりました。

変更前： 政策局地域政策部地域政策課 電話 (045)210-3265

変更後： 政策局自治振興部地域政策課 電話 (045)210-3255

なお、所在地、ファクシミリ番号及びホームページ URL の変更はございません。